

まえがき

この本の出版が決まる直前のある日。職場へ向かう途中コンビニへ寄り、お弁当とお茶をレジに持っていくと合計五五六円でした。財布にはたまたま、五千円札とわずかな小銭しかなかったので、お釣りで小銭が増えすぎるのは嫌だなど思いつつも五千円札一枚で支払うと、四四四四円のお返しです、と言われて驚きました。

四四四四のゾロ目はエンジェルナンバーと呼び、アセンデッドマスターと呼ばれる存在からのメッセージです。その意味は『天使たちがあなたの祈りを聞いています。あなたは決して一人ではないので安心してください』というものです。

このようなたまたま見てしまったゾロ目のナンバーを、あなたは偶然で片づけるのでしょうか。それとも何か意味があるものとして捉えるのでしょうか。

私はそれなりにたくさん的人生経験を積み、いつも本気で自己と向き合う作業をして

いたある日突然自動的に、ある世界へと導かれました。

その世界へと導かれると、目の前には今まで考えられなかった現実展開が待っていました。あのとき、あのナンバーが現れたことを偶然と捉えていたころには考えられなかった不思議現象がめじろ押しなのです。ときどきそれが怖くなって以前にいた世界に戻りたくなっても、一度目覚ましアラームが鳴ってしまうと、もう同じ夢の中へは戻れなくなってしまうようなものです。

そしてその世界は目に見えることではなく、自分の内面が発端となつて起こっていることのようにです。そのため、同じ現象が起きても隣近所にいる誰かにとつてはまったく異なる風景が見えているでしょう。

それでも『私はもうこの道しかないんだ』と強く思い向き合つていき、たどり着いたのが今ココ。そこには懐かしき風景がありました。初めて来た場所ではなく前から知っていた場所のようで、今まで忘れていて思い出したというだけでした。

私たちが生きているこの世界は、目に見えるものであふれています。しかしながら、目に見えないものもたくさんあります。この本を手を取つていただいている素敵な皆様を、

時空を超えた旅へと案内いたします。そこで見つけた“答え”は、一見都合が悪く見えるものであろうと、あなたを幸せへと導いていくのです。

市川 芽夢

(いちかわ めぐむ)